

## ★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 渡辺健次 副委員長 藤原康宏

幹事 三好康夫・立岩佑一郎 幹事補佐 山元 翔・加納 徹

日時 6月11日(土) 10:00~17:00

12日(日) 9:30~12:25

会場 名工大 (〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町, JR 中央本線鶴舞駅下車徒歩7分, <https://www.nitech.ac.jp/access/index.html> 立岩佑一郎 TEL [052] 735-5450)

議題 with コロナ時代における教育・学習基盤／一般

11日午前 ET/CLE(1) (10:10~11:50)

ET-1. オンライン環境は知識創造活動を支援できるか—個別的学びと協同的学びの連携—

渡邊豊英 (名古屋産業科学研究所)

2. [CLE] 遠隔疑似監視かつ個別分散の試験環境下における線形代数のIBTに関する実践報告—Zoom及びMoodle等を活用— ○亀田真澄 (山口東京理科大)・宇田川暢 (名大)

3. [CLE] キーワードの分析によるオンライン授業に関する研究動向の探索 ○武田俊之 (関西学院大)

4. [CLE] with コロナな短大入学前学習の設計 ○田中洋一・澤崎敏文 (仁愛女子短大)

11日午後 招待講演 (13:00~14:00)

ET-5. [招待講演] 近畿大学情報学部の紹介—KDIXの挑戦— 井口信和 (近畿大)

ET/CLE(2) (14:15~15:30)

ET-6. プログラミング学習時の脳波と心拍と表情の関係について

○梅澤克之 (湘南工科大)・中澤 真 (会津大短大部)・中野美知子・平澤茂一 (早大)

ET-7. Pythonプログラムの採点システムの開発について

○小酒井亮太・小林敏樹・張 文軒・楊 群・渡邊裕司 (名古屋市大)

8. [CLE] データサイエンスのエコシステムによる拡張可能なプログラミング授業環境の構築

○東田 学・Soto David・白井詩沙香 (阪大)・上田真由美 (流通科学大)

ET/CLE(3) (15:45~17:00)

ET-9. ストローク形状によるドローイング作品の質的評価のための基礎的検討とその妥当性検証

○杉井奏斗 (信州大)・永井 孝 (ものづくり大)・香山瑞恵 (信州大)

10. [CLE] 技術記事投稿サイトを対象とした企業技術情報分類のための半教師有学習

柿本侑毅・太田光一・○長谷川 忍 (北陸先端大)

11. [CLE] Improvement of Page Segmentation Model for Analytics of Handwritten Notes

○周 云宇・峰松 翼・島田敬士 (九大)

12日午前 ET/CLE(4) (9:30~10:45)

ET-1. 統計的探究プロセスにおけるデータ分析力育成のための大学生向け教材開発 吉根勝美 (南山大)

2. [CLE] 学習テーマとその関連テーマによるデジタル教材のダイジェスト資料生成

○玉城亮治・峰松 翼・谷口雄太・大久保文哉・島田敬士 (九大)

3. [CLE] 地方公務員の業務関連性に着目したDX人材育成教材の開発と受講結果分析

○坂本昌宏・都竹茂樹 (熊本大)

ET/CLE(5) (11:00~12:25)

ET-4. 知識構造を考慮して学習事項となる表現を逆算する語学と内容の同時学習支援に向けて 江原 遥 (学芸大)

5. [CLE] グループワークに対するモチベーションタイプ「ストレス動機型」に関する参加者の行動事例分析—「機能的役割タグ」に基づく発言の分析—

○向後みりな・東 孝文 (東京電機大)・渡辺昌洋・青木良輔 (NTT)・武川直樹 (東京電機大)

6. [CLE] ゼロトラストアクセス制御を題材とした仮想システム設計演習の教育効果測定 ○笹田大翔・妙中雄三・門林雄基 (奈良先端大)

◆情報処理学会；教育学習支援情報システム研究会連催, IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

☆ET研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

7月9日(土) 室蘭工大／オンライン開催〔締切済〕テーマ：学習履歴データの蓄積・分析と実践応用／一般

9月17日(土) 広島大〔7月11日(月)〕テーマ：教育学習支援システムの開発と運用／一般

### 【問合せ先】

立岩佑一郎 (名工大)

E-mail: [tateiwa@nitech.ac.jp](mailto:tateiwa@nitech.ac.jp)

○オンライン開催に切り替わる可能性があります。

○第1著者として, 1回の研究会で1件まで発表できます。

- ◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めておりませんので御注意下さい。
- ◎原稿は、4 ページ～8 ページで作成して下さい。
- ◎本研究会の取り組みについては、ET 研究会ホームページ (<http://www.ieice.org/iss/et/>) も御覧下さい。
- ◎当日の発表時間は、進捗により多少ずれることがあります。あらかじめお含みおき下さい。